

やったるで! JC

VOL. 12

2017年



不撓不屈

～変化を恐れず、挑戦する心を持って～

(内容)

【2面】・事業報告

【3面】【4面】・1年のまとめ

大竹青年会議所 HP

URL : <http://www.otake.jc.com/2017/>



9月例会

記事：50周年準備企画室 担当委員長 網代木 秀太 君



9月例会では、2018年度大竹青年会議所は創立50周年を迎えるにあたり、当事者としての意識の向上を目的とし、開催いたしました。周年事業を経験していない会員が大半を占める中、少ない人数だからこそ、我々会員が、何が出来るのか、何をすべきなのか、を考え行動できるようにならなければならないと考えました。

講師に45周年実行委員長を務められた、谷岡正和先輩をお招きし、45周年事業を実際にやり遂げた時際のある様々な問題点や、我々会員に向けてのアドバイスをいただき、身の引き締まる思いとなりました。

また、次年度理事長予定者からの周年に対する想いや、次年度50周年実行委員長予定者からの想いを聞くことで、我々会員の当事者としての意識が向上しました。最後には次年度50周年実行委員長が皆を巻き込んでの、気合を入れる掛け声で締めくくりました。



10月例会

記事：専務理事セクレタリ 河野 大輔 君



10月合同例会は一般社団法人岩国青年会議所と、お互いの地域が利用するソーシャルストックについて共に学ぶ事を目的として、岩国錦帯橋空港にて開催致しました。ここでは岩国青年会議所34代理事長重村正明先輩、岩国市観光振興課の穴水課長、全日空山口支店の横山マネージャーという3名の講師をお招きし、青年会議所、行政、企業の側面からそれぞれお話をして頂きました。

最初に岩国錦帯橋空港の具現化に至る歴史について、他団体と協力をしながら誘致運動をされたことについての講演に始まり、行政の立場からの活用方法や地域振興への結び付けについての講演、最後に企業側からの今後の展望について講演を頂きました。

岩国錦帯橋空港というソーシャルストックについて、実際の場所を会場とし、そこで3つの側面からお話を伺うことができたことで、同じ商業圏に属する大竹青年会議所と岩国青年会議所会員が、五感を以て感じ、お互いに学びを深められた貴重な例会であったと考えます。



11月例会

記事：指導力開発委員会 委員長 沖野 博志 君



この度の11月例会では、委員会が目指すリーダー像になる為に必要な要素として、アイデアを挙げさせて頂きました。

アイデアとは、ビジョン達成に向かって行く過程において、困難な状況や壁に当たる時、見出す打開策のことです。そのアイデアを出す為には、リーダーが自らの知識や経験、周囲からの助言などを得ながら、物事の本質を見抜く力が必要であると考えこの度の例会を開催致しました。

そして、クリティカルシンキングという手法を用いて、自他の思考について問い続けることが目指すべきビジョンに到達する糸口を掴むことに繋がることを学んで頂きました。



1年のまとめ

記事： 理事長 田中 大介 君

2017年度、不撓不屈～変化を恐れず挑戦する心を持って～のスローガンのもと、会員とともに一年間活動して参りました。まずは、我々の活動に対して、多くの方々のご理解やご協力いただきましたこと、感謝申し上げます。

最初に、今年度は広島県内各地青年会議所会員同士の交流の場である、ブロックゴルフ大会を企画設営し、196名の登録をいただくことができました。参加された方々が楽しんでいただけるようにしっかりとおもてなしをし、事故や怪我もなく、無事事業を終えることができました。ご協力いただきました関係者各位、諸先輩方には、ご無理を言わせて、大変お世話になりました。

次に、大竹青年会議所としては、会員の資質向上として、困難な状況においても皆を導けるリーダーとなれるよう取り組み、まちに対しては、ふるさとの将来を真剣に考える方々を繋げられるよう取り組み、そうした活動をホームページやフェイスブック、広報誌を通じて一人でも多くの方に向けて発信し続けて参りました。

青年会議所という団体は、1月から12月までの一年間を基本とし活動し、毎年組織を変更します。その中で、会員は新たな役職を受けるにあたり、その役を全うすべく様々なことに挑戦してきました。会員とともに、そのような機会をいただき、多くの気付きと学びを得られたことへ改めて感謝申し上げます。一年間どうもありがとうございました。

ブロックゴルフ大会実行委員会

記事： ブロックゴルフ大会 実行委員長 小山 剛司 君

今年度は、10年ぶりに広島ブロックゴルフ大会を大竹が主管いたしました。現在約600名の広島ブロック各地会員会議所の同志が集い、懇親を図ると共に、互いの情報交換の場として頂き、繋がりを深め、2017年度の活動に躍進して頂ける様な事業とするために、和木ゴルフ倶楽部様ご協力の基、少数精鋭の大竹青年会議所全会員がひとつとなり、設営、運営を致しました。その約600名の内、196名という過去10年の中で、最も多い登録を頂きました。

当日は、あいにくの濃霧で、心ゆくまでゴルフを満喫までとはいかなかったかもしれませんが、各部門長、そして大竹メンバー全員の設営に多くのお褒めのお言葉を頂いた事業とすることが出来ました。

また、この事業の主管に際しまして、大竹シニアクラブ福田会長をはじめ、多数の先輩方にもご参加のご協力を頂きましたこと、改めて心より御礼申し上げます。

ふるさと活性委員会

記事： ふるさと活性委員会 委員長 高橋 央史 君

本年度、ふるさと活性委員会では、人口の減少から生じる諸問題の一つ、空き家問題にテーマをあて、市民、行政、諸団体の方々と共に、その背景や活用方法を検討してきました。2月例会では、主に空き家問題の背景や問題点等を調査・研究し、発表することで、空き家の現状を知っていただき、5月例会・8月例会では、新しい視点（空き家問題をエリアで考え、その街の歴史に立ち戻り、解決していく等）から空き家の利活用を考え、多くの方と意識や情報を共有してまいりました。また、そこで生まれた繋がりの中から、大竹イノベーターズという団体を発足させ、月に1度、空き家の利活用を含めた勉強会を行っています。

当委員会として、一連の活動を通して、空き家の解決のためには、「人・もの・心を繋ぐこと」「地域の特色・歴史を活かすこと」が必要であると結論付けました。地域の特色・歴史としては、「宮島、岩国という観光地の間に位置する街」「江戸時代、玖波においては宿場町として栄えた」等があり、それを活かした事業、空き家を宿泊施設に利用する民泊プロジェクトを起案いたしました。委員会活動としては、この起案作成をもって終了いたしますが、当該事業は、次年度以降も大竹イノベーターズを中心に進めていき、大竹市が空き家を利活用した循環型社会構築の最先端をゆく街となるべく、引き続き邁進していきたいと思います。

本年度指導力開発委員会はリーダーシップの向上を目指す委員会として、「困難な状況に陥っても明確な落としどころを見出し進むべき道へと導けるリーダー」へと成長出来るよう年間を通して会員育成に取り組んでまいりました。

そして、試行錯誤しながら委員会全員で本年度スローガン「不撓不屈」のように意見を出し合いより良いものを作ろうとやり通してきました。また、新入会員を預かり指導する委員会として共に学び成長する機会を頂きました。

今後は、この一年間で学んだ多くのことを糧にさらなる飛躍を目指し、新しい学びを求めていきたいと思えます。皆様のご協力誠に有難うございました。

総務広報委員会

記事：総務広報委員会 委員長 網代木 秀太 君

本年度、総務広報委員会では、担当例会として新年例会、卒業式・納会を担当しました。新年例会では、先輩方に今年1年の活動方針をお話しさせていただき、ご理解をいただきました。納会では、今年1年の活動方針をご理解いただいた先輩方に事業の報告をする義務があると考え、1年間の活動を報告させていただきました。

また、総務広報委員会は、1年間の活動を、色々な媒体を使い多くの方に発信してまいりました。発信し続けることで、大竹青年会議所の活動に対して、ご理解得られると考えます。今後も幅広く発信していきたいと思えます。

そして、例会や、総会の設営に関しては、皆様にご迷惑をかけることもありましたが、全力で設営し、例会に参加する会員が気持ちよく参加できるようにと思い、委員会メンバーが一丸となり設営させていただきました。

最後になりますが、本年度総務広報委員会にご協力いただきました、皆様には大変感謝をしております。ありがとうございました。

会員募集

私たちは、新たな仲間
を求めています！

20歳から40歳までの貴重な年月、共に
研鑽と成長を重ねる、友情の日々を歩
みませんか？あなたの参加を会員一
同、いつでも歓迎いたします！

【JC三信条】

1.個人の修練 2.社会への奉仕 3.世界との友情

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき、会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。

【JC宣言】

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する。

【綱領】

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

一般社団法人大竹青年会議所は『まち』と『ひと』を思い活動する20歳から40歳までの青年の団体です。

今後の参考のためにアンケートのご協力お願いいたします！

